

第6次

東海市行政改革大綱推進計画

令和3年度（2021年度）進行状況報告書

— 行政の「質の改革」の実現をめざして —

改革の視点

- 1 質の高い市民サービスの提供
 - (1) 市民目線に立った行政サービスの提供
 - (2) わかりやすい行政運営の推進
 - (3) 広域行政の推進
- 2 市民とのパートナーシップの構築
 - (1) 市と市民との役割分担
 - (2) 市民協働の推進
- 3 行政資源の最適化の推進
 - (1) 人材育成の推進
 - (2) 健全な財政運営の推進
 - (3) 組織・機構の適正化

行政改革推進項目

目 次

ページ

表の見方	1
1 質の高い市民サービスの提供	
(1) 市民目線に立った行政サービスの提供	
1 市内の公共交通等の移動手段の充実	2
2 健康増進のための施設リニューアル（しあわせ村）	3
3 ごみ減量・資源化の推進	4
4 屋外スポーツ施設の整備推進	5
5 農業センターリニューアル	6
6 公金におけるキャッシュレス決済の導入	7
(2) わかりやすい行政運営の推進《推進項目なし》	
(3) 広域行政の推進	
7 ごみ処理施設の広域化	8
8 下水汚泥の共同処理	9
9 周辺自治体との連携方策等の検討	10

2 市民とのパートナーシップの構築

(1) 市と市民との役割分担《推進項目なし》

(2) 市民協働の推進《推進項目なし》

3 行政資源の最適化の推進

(1) 人材育成の推進

1 0 職員力・組織力の高い職場を構築するための各種研修の充実・・・ 11

(2) 健全な財政運営の推進

1 1 公共施設等の今後の方向性の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

(3) 組織・機構の適正化

1 2 組織の適正化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

1 3 デジタル技術を活用した行政サービスの向上・・・・・・・・・・・・ 14

行政改革推進項目総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

表の見方

1 質の高い市民サービスの提供

(1) 市民目線に立った行政サービスの提供

No.	1	担当本部長：推進担当課	総務部長：交通防犯課 (関係課：都市整備課)		
推進項目名	市内の公共交通等の移動手段の充実		推進期間	(継続) 2014～ 2020	
総合計画の 関連施策等	③ 第6次東海市総合計画の施策等との 関連を記載しています。		② 推進項目の改革期間として必 要な期間を記載しています。		
概 要	④ 推進項目として取り組む改革の概要を 記載しています。		⑤ 推進項目の改革を実施することにより、得られる効果(目的)を 記載しています。		
効果(目的)	り、特に高齢者の外出を促し、市民の健康保持、まらのにきわいにつながり、市民が健 康で活気のあるまちとなる。				
年次計画	令和3年度(2021年度)		令和4年度(2022年度)		令和5年度(2023年度)
	⑥ 計画期間中の工程を年度ごとに記載していま す。		及び検討		調査・検討・実施 ・ダイヤ・ルートの運行状 ・近隣市との連携の検討 ・市内公共交通機関の連携 の促進
管理 目標	⑦ 推進項目の改革の成果や進捗を図るために 設定しています。	440,000人		60%	
当該年度の 活動実績	⑧ 令和3年度(2021年度)の活動実績を 記載しています。		⑩ 令和3年度(2021年度)の活動実 績を以下の基準で評価しています。		
管理目標 実績	⑨ ⑦に記載した管理目標の令和3年度 (2021年度)実績を記載しています。		値目標	進捗状況	総合評価
分析及び 課題	⑪ 活動実績及び管理目標実績の分析を行い、進行状況に関する評価(数値目標及 び進捗状況)及び今後の課題を記載しています。				

◎ わかりにくい表現については、「※」をつけ、17ページの「用語解説」に説明を掲載して
います。

【評価基準】

数値目標	○	○(△)	△	×	×	—	—
進捗状況	○	×	○	○	×	○	×
総合評価	A	B		C	D	A	D

A	順調である
B	やや順調である
C	やや順調でない
D	順調でない

数値目標：△は、数値目標が2つある推進項目のうち、片方だけ目標を達成している場
合に該当します。数値目標がない年度は、評価対象としません。

進捗状況：概ね年次計画通りの場合は○、大幅な遅れがある場合は×

1 質の高い市民サービスの提供

(1) 市民目線に立った行政サービスの提供

No.	1	担当本部長：推進担当課	総務部長：交通防犯課 (関係課：都市計画課)		
推進項目名	市内の公共交通等の移動手段の充実		推進期間	(継続) 2014～ 2023	
総合計画の 関連施策等	キーワード	施策・単位施策			
	快 適	31 快適に移動がしやすい交通環境をつくる 31-2 公共交通機関の利便性を高める			
概要	平成27年度(2015年度)に策定した「地域公共交通網形成計画」に基づき、将来のまちづくりと連携した維持可能な地域公共交通網の実現に向けて、市内の公共交通である名鉄電車、知多バス、タクシー、循環バス等が連携し、利便性の向上を目指す。 また、高齢者の健康保持を目的とした外出の促進やまちのにぎわいの創出も図る。				
効果(目的)	市内の公共交通機関の利便性が向上し、自家用車に過度に頼らない交通環境が形成される。 また、高齢者の外出促進、市民の健康保持等が図られ、まちがにぎわい、市民が健康で活気のあるまちとなる。				
年次計画	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)		
	調査・検討	調査・検討	検討・実施		
	・ダイヤ・ルート見直し後の利用状況の調査 ・市内公共交通機関との連携の検討・協議	・新駅等のハード整備に合わせたダイヤ・ルートの見直し案の検討 ・市内公共交通機関との連携の検討・協議	・新駅等のハード整備に合わせたダイヤ・ルートの見直しの検討・実施 ・市内公共交通機関との連携の検討・協議		
管理目標	循環バスの年間利用者数(R2実績:299,336人)	441,000人	442,000人	443,000人	
	鉄道やバス等の公共交通機関が利用しやすいと思う人の割合(R2実績:52.7%)	54%	57%	60%	
当該年度の活動実績	毎月1回乗降調査を実施し、利用状況の分析を進めた。また、大府市地域公共交通会議への参加など、近隣市との公共交通連携について情報交換を行った。さらに、GTF Sデータ※1公開(6月)、障害者手帳アプリの運用開始(6月)、QRコード決済の運用開始(9月)、感染症対策として、全車両へのウイルス抗菌処理の実施(9月)等、バス利用者の利便性向上策を講じた。				
管理目標実績	循環バス利用者数：284,794人 鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすいと思う人の割合：49.5%	評価	数値目標	進捗状況	総合評価
			×	○	C
分析及び課題	令和3年度(2021年度)の循環バス利用者は、終息が見えないコロナ禍による外出自粛やテレワークの普及などの影響を受け、鉄道等も含め公共交通全体で利用者の落ち込みが目立った。コロナ禍においても、緊急事態宣言発出時以外には、前年度利用実績を上回る月も見られるなど、緩やかな回復傾向も見られるが、最終的には年間管理目標の6割程の利用者数となった。今後の課題としては、コロナ禍により急速に社会全体のデジタル化が進み、公共交通に求められるニーズも変化していることなども踏まえ、利用状況の分析や利用ニーズについて調査・研究を進め、次期ダイヤ・ルート改正に向けた準備を進めていく必要がある。				

1 質の高い市民サービスの提供

(1) 市民目線に立った行政サービスの提供

N o .	2	担当本部長:推進担当課	健康福祉監:健康推進課		
推進項目名	健康増進のための施設リニューアル (しあわせ村)		推進期間	(継続) 2014~ 2021	
総合計画の 関連施策等	キーワード	施策・単位施策			
	快 適	2 健康づくりを支援する社会環境をつくる 2-2 健康づくりに取り組みやすい生活環境を整備する			
概要	より多くの市民を健康でいきいきとした生活へと導く、健康づくりの拠点として、高齢者を含めた市民にとって健康増進・機能回復に貢献する施設を目指し、しあわせ村の施設リニューアルを実施する。				
効果(目的)	施設利用者の利便性が向上する。 施設利用者が増加する。				
年次計画	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)		
	検討	/			
	シニアの介護予防等の運動による健康づくりができる場を提供するため、温浴室、トレーニング室等のリニューアルに向けた検討内容のとりまとめ				
管理目標	進捗状況	年次計画に基づき実施する	/		
利用者数 (R2実績: 99,025人)	273,000人 (保健福祉センター・健康ふれあい交流館の利用者計)				
当該年度の活動実績	リニューアルを推進するため検討を重ねてきたが、計画策定後、市内に民間のスポーツ施設や令和6年度(2024年度)には、西知多医療厚生組合※2事業として新たに健康増進施設が整備されることから、リニューアルの必要性が低いこと、施設の長寿命化が推進されていることから、リニューアルではなく、施設の長寿命化と省エネルギー化を重要な課題としていくことを検討した。				
管理目標実績	189,565人	評価	数値目標	進捗状況	総合評価
			×	○	C
分析及び課題	多目的ホールが、新型コロナワクチンの接種会場となったため、前年度の99,025人から189,565人とほぼ倍増となった。 今後はリニューアルではなく、施設の長寿命化と省エネルギー化を軸に、適切な修繕を実施しながら、安心安全な施設維持に努める。				
効果額(千円)	-				

1 質の高い市民サービスの提供

(1) 市民目線に立った行政サービスの提供

No.	3	担当本部長：推進担当課	環境経済部長：清掃センター (関係課：生活環境課)		
推進項目名	ごみ減量・資源化の推進		推進期間	(継続) 2016～ 2024	
総合計画の 関連施策等	キーワード	施策・単位施策			
	快 適	21 ごみの減量化とリサイクルを推進する 21-1 3R活動を推進する			
概要	循環型社会の形成を目指し、第4次東海市ごみ処理基本計画で掲げるごみ減量目標（令和6年度（2024年度）までに平成26年度（2014年度）実績から市民一人1日当たり70g削減）の達成に向けて、市民、事業者への情報提供等の働きかけ・PR等を強化するとともに、公共施設から出るごみの減量を図る。				
効果（目的）	ごみ減量によるごみ処理費用負担の軽減や、正しいごみ・資源の分別の推進により、循環型社会が形成される。				
年次計画	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）		
	検討・実施	検討・実施	検討・実施		
	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設のごみ減量策の検討・実施 西知多クリーンセンターへの移行に伴うごみ処理のあり方等の検討 食品ロス削減講座の実施（保育園への出前講座） ごみ減量啓発記事の広報・アプリ配信等 3R推進協議会によるごみ減量目標の進行管理 ごみ処理基本計画の中間見直しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設のごみ減量策の検討・実施 西知多クリーンセンターへの移行に伴うごみ処理のあり方等の検討 食品ロス削減講座の実施（保育園への出前講座） ごみ減量啓発記事の広報・アプリ配信等 3R推進協議会によるごみ減量目標の進行管理 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設のごみ減量策の検討・実施 西知多クリーンセンターへの移行に伴うごみ処理のあり方等の決定 食品ロス削減講座の実施（保育園への出前講座） ごみ減量啓発記事の広報・アプリ配信等 3R推進協議会によるごみ減量目標の進行管理 		
管理目標	一人1日当たりのごみ総排出量 (R2実績: 845g)	859g	856g	853g (2024年度までに2014年度実績920gから△70g)	
当該年度の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設から排出される印刷物やポスター等の資源化を進めた。 食品ロス削減講座では、全保育園で紙芝居を実施した。また、フードドライブを試行的に行う等食品ロスの減量化に向けた取組を行った。 ごみ減量のため、アプリで資源分別収集等を案内し、また、ごみ収集カレンダー等でアプリをPRしダウンロードを促した(ダウンロード数12,130件→16,158件)。 ごみ処理基本計画の中間見直しを行った。 				
管理目標実績	833g	評価	数値目標	進捗状況	総合評価
			○	○	A
分析及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 家庭系ごみは市民がコロナ禍でのごみの削減に努めたことにより減少し、事業系ごみはコロナ禍の状況が引き続いたことにより横ばいとなったものと考えられる。 プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、プラスチックのリサイクルを促進するため、容器包装との一括回収を検討する必要がある。 				

1 質の高い市民サービスの提供

(1) 市民目線に立った行政サービスの提供

N o .	4	担当本部員：推進担当課	教育部長：スポーツ課 (関係課：下水道課)		
推進項目名	屋外スポーツ施設の整備推進		推進期間	(継続) 2018～ 2021	
総合計画の 関連施策等	キーワード	施策・単位施策			
	いきいき	15 気軽にスポーツを楽しんでいる 15-1 スポーツに親しむ機会を提供する。			
概要	<p>利用目的の変化や新たな種目の普及など、スポーツ施設に対する市民ニーズが多様化するなか、新たな層の利用者の確保などを図るため、施設の見直しが求められている。</p> <p>新宝緑地運動公園の返還に伴い、スポーツ施設のあり方を見直し、より利用しやすい施設とする。</p>				
効果(目的)	<p>幅広い年代の利用者の利便性が向上する。</p> <p>施設利用者が増加する。</p>				
年次計画	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)		
	検討	/			
・設計内容の確認、調整等 ・新宝緑地運動公園の返還に必要な整備等					
管理目標	進捗状況	年次計画に基づき実施する			
当該年度の活動実績	<p>新宝緑地運動公園施設解体工事が令和3年(2021年)10月29日に完了し、令和3年(2021年)11月30日付で名古屋港管理組合との借地契約に関する変更等の返還手続きを行った。</p> <p>また、整備が完了していない元浜スポーツ広場について、利用者ニーズの把握や設計及び整備内容に関する現地調査を行った。</p>				
管理目標実績	年次計画通り	評	数値目標	進捗状況	総合評価
		価	—	△	B
分析及び課題	<p>令和3年度(2021年度)は、年次計画通り新宝緑地運動公園の廃止に伴う手続き等を順調に行うことができた。これまでも、元浜スポーツ広場のサッカー場や加木屋球場、上野台公園の多目的広場の整備を実施し、スポーツ環境の充実を図ってきた。</p> <p>元浜スポーツ広場の未整備箇所は、利用目的の変化や新たな種目の普及など、スポーツ施設に対する市民ニーズの多様化に合わせて整理した概ねの方向性に沿って進めていく。</p>				
効果額(千円)	—		<p>※ 行政改革推進委員会から「終了する項目の進捗状況は当初の目的も照らし合わせて評価すべき」と提言があったことから、評価基準に定めがないが、例外的に進捗状況を△、総合評価をBとするもの。</p>		

1 質の高い市民サービスの提供

(1) 市民目線に立った行政サービスの提供

No.		5	担当本部員：推進担当課		環境経済部長：農務課		
推進項目名		農業センターリニューアル			推進期間	(新規) 2021～ 2022	
総合計画の 関連施策等		キーワード	施策・単位施策				
		活 力	25 魅力のある農業を推進する 25-2 農業経営を支援する				
概 要		社会情勢の変化に対応した魅力ある農業拠点施設とするため、基幹の洋ランや果樹等の試験研究機能に「健康」や「観光」の視点による新たな交流機能を取り入れるリニューアル計画を策定する。					
効果（目的）		農業振興が進み、併せて健康づくり、観光交流といった施策を複合的に推進することで、施設利用者の満足度が向上する。					
年次計画		令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）			
		検討	検討	/			
		【リニューアル基本計画策定】 ・参入意向者の抽出 ・事業成立性の確認 ・事業手法及び事業フレームの確認	【リニューアル基本計画策定】 ・参入意向者の抽出 ・事業成立性の確認 ・事業手法及び事業フレームの確認 ・リニューアル計画としてとりまとめ				
管理目標	進捗状況	年次計画に基づき実施する	年次計画に基づき実施する	/			
当該年度の活動実績		本施設は築38年が経過し、長寿命化改修の実施時期を迎えていることから、多様化する市民ニーズに応えつつ、施設を耐用年数まで使用するために、リニューアル基本計画策定等の対応を行った。 民間事業者ヒアリング及びリニューアル基本計画策定調査を実施し、民間事業者の参入可能性の確認や事業成立性の検討を進めた。					
管理目標実績	年次計画通り	評価	数値目標	進捗状況	総合評価		
			—	○	A		
分析及び課題		ヒアリング等の結果、民設民営での参入は厳しいとの意見が多くあったことから、民間参入を促すためには、参入条件等を整理し、事業成立性を高める事業フレーム及び事業手法の検討を更に行う必要がある。					

1 質の高い市民サービスの提供

(1) 市民目線に立った行政サービスの提供

No.		6	担当本部員：推進担当課		企画部長：企画政策課 (関係課：財政課、会計課)		
推進項目名		公金におけるキャッシュレス決済の導入			推進期間	(新規) 2021～ 2024	
総合計画の 関連施策等		キーワード	施策・単位施策				
		快 適	38 効率的で健全な行財政運営がなされている 38-1 効率的な市政運営を行う				
概要		キャッシュレス決済の普及などの納付方法の多様化に対応するとともに、公金収納事務の効率化を図るため、市窓口や公共施設使用料、市事業参加料等へのキャッシュレス決済について検討・導入を進める。					
効果(目的)		納付方法の多様化による市民サービスの向上及び事務の効率化					
年次計画		令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)			
		検討・準備・実施	検討・準備・実施	検討・準備・実施			
		キャッシュレス決済の導入に必要な条件整理(手数料負担のあり方、システム等の環境整備の検討)	キャッシュレス決済の導入に向けた検討・準備(既存システムの更新等に向けた仕様検討等)	キャッシュレス決済の導入に向けた検討・準備(既存システムの更新等に向けた仕様検討等)			
		キャッシュレス決済の導入に関する方針決定 導入可能なものから順次実施	導入可能なものから順次実施	導入可能なものから順次実施			
管理目標	進捗状況	年次計画に基づき実施する	年次計画に基づき実施する	年次計画に基づき実施する			
当該年度の活動実績		キャッシュレス決済の導入に向けて、必要な条件を関係する各課と協議し、整理した。令和3年度(2021年度)から令和5年度(2023年度)を試行期間とする、公金におけるキャッシュレス決済の導入方針としてまとめ、令和4年(2022年)3月より市民窓口課における証明書発行手続きにおいて、導入した。					
管理目標実績		年次計画通り	評価	数値目標	進捗状況	総合評価	
				—	○	A	
分析及び課題		試行期間における導入方針に基づき導入が進むように、芸術劇場などの使用料を徴収する関係課と調整等を行い、導入に向けた検討を推進する。					

1 質の高い市民サービスの提供

(3) 広域行政の推進

No.		7	担当本部員：推進担当課		環境経済部長：清掃センター	
推進項目名		ごみ処理施設の広域化			推進期間	(継続) 2014～ 2023
総合計画の 関連施策等		キーワード	施策・単位施策			
		快 適	21 ごみの減量化とリサイクルを推進する 21-2 ごみを適切に処分する			
概要		<p>東海市と知多市は、両市のごみ焼却施設等が耐用年数を迎えることから、効率的な施設運営による経費削減と、環境にやさしい循環型社会形成の一層の推進を図るため、令和5年度（2023年度）の完成を目途に、西知多医療厚生組合と施設の統合に向けた協議を進める。</p> <p>また、施設の統合に併せて、ごみと資源の分別方法及び収集体制を検討し、適正なごみ処理体制の構築を目指す。</p>				
効果（目的）		西知多クリーンセンターの稼働に併せて、ごみ収集体制を確立することで、ごみが安全に収集され、ごみ処理施設が安定的に稼働するとともに、処理費等の削減が図られる。				
年次計画		令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）		
		検討	検討	検討・実施		
		<p>【西知多医療厚生組合】 環境影響評価^{※3}に基づく、環境保全措置の実施</p> <p>設計・建設工事の実施 工事監理の実施</p> <p>持ち込みごみの受入方法等の検討</p> <p>【東海市】 資源の処理体制等の検討及び推進に向けた調整 現有施設のあり方検討</p>	<p>【西知多医療厚生組合】 環境影響評価に基づく、環境保全措置の実施</p> <p>設計・建設工事の実施 工事監理の実施</p> <p>持ち込みごみの受入方法等の検討</p> <p>【東海市】 資源の処理体制等の検討及び推進に向けた調整 現有施設のあり方検討</p>	<p>【西知多医療厚生組合】 環境影響評価に基づく、環境保全措置の実施</p> <p>設計・建設工事の実施 試運転の実施 工事監理の実施 新施設の竣工 持ち込みごみの受入方法等の決定</p> <p>【東海市】 資源の処理体制等の決定及び推進に向けた調整 現有施設のあり方の方針決定・実施</p>		
		<p>年次計画に基づき実施する</p>	<p>年次計画に基づき実施する</p>	<p>年次計画に基づき実施する</p>		
管理目標	進捗状況					
当該年度の活動実績		<ul style="list-style-type: none"> 西知多医療厚生組合は、地下水モニタリング調査を継続するとともに、西知多クリーンセンターの設計及び準備工事を完了し建築本体工事を進めている。 持ち込みごみの受入方法等の検討では、知多市及び組合と定期的に協議し、新施設のごみ処理手数料の基本的な考え方について協議を重ねた。 新施設稼働後の令和6年度（2024年度）以降も業務を継続するため現清掃センター管理棟の改修工事を計画した。 				
管理目標実績	年次計画通り	評価	数値目標	進捗状況	総合評価	
			—	○	A	
分析及び課題		<ul style="list-style-type: none"> 西知多クリーンセンターへの業務の移行に当たり、市民の混乱を招かないよう、ごみ処理手数料について、基本的な考え方に基づいて料金設定を行うとともに、ごみの出し方等の市民への周知方法及び時期等について検討する必要がある。 現管理棟の職員体制について検討する必要がある。 				

1 質の高い市民サービスの提供

(3) 広域行政の推進

N o .	8	担当本部長：推進担当課	水道部長：下水道課		
推進項目名	下水汚泥の共同処理		推進期間	(継続) 2014～ 2021	
総合計画の 関連施策等	キーワード	施策・単位施策			
	安心	19 生活排水を適切に処理する 19-1 下水道を整備して汚水を処理する			
概要	東海市、常滑市、知多市の下水処理場で発生する下水汚泥を衣浦西部浄化センター※4に集約することによって、知多半島全体でより効率的な下水汚泥処理施設の建設・維持管理を行うもの。				
効果（目的）	下水汚泥処理施設の建設費・維持管理費の削減と広域連携による効果的な下水処理が図られる。				
年次計画	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）		
	実施				
<ul style="list-style-type: none"> ・衣浦西部流域下水道の各市町、東海市を含む3市及び県による調整 ・県による焼却炉建設に係る建設工事の実施・完了 ・令和4年度（2022年度）稼働開始に向けての試運転の実施 ・維持管理に関する年度協定の締結 					
管理目標	進捗状況	年次計画に基づき実施する			
当該年度の活動実績	令和4年度（2022年度）稼働開始に向けて、焼却炉の試運転を実施し、建設工事は完了した。維持管理に関する年度協定の締結を行った。				
管理目標実績	年次計画通り	評価	数値目標	進捗状況	総合評価
			—	○	A
分析及び課題	試運転では、令和4年度（2022年度）稼働開始と同じ条件となるように、浄化センターから衣浦西部浄化センターまで脱水ケーキを搬出し、焼却処分を行ったが、特に問題なく実施した。焼却施設の緊急故障や定期修繕に迅速に対応できるように、愛知県と日常的に調整を続ける必要がある。				
効果額（千円）	197,649				

1 質の高い市民サービスの提供

(3) 広域行政の推進

No.		9	担当本部長：推進担当課		企画部長：企画政策課			
推進項目名		周辺自治体との連携方策等の検討			推進期間	(継続) 2016～ 2023		
総合計画の 関連施策等		キーワード	施策・単位施策					
		快 適	38 効率的で健全な行財政運営を進める 38-1 効率的な市政運営を行う					
概要		<p>高齢化の進行に伴い、健康志向の高まりに対応するための健康増進施設の整備など、市民ニーズは多様化・高度化しており、国の掲げる自治体戦略2040構想においても、急速な人口減少・高齢化が進むと見込まれる中、都市機能等を維持確保するため圏域マネジメントのあり方の検討がなされている。</p> <p>行政サービスの質の向上等を図りながら、限られた行政資源で効率的に対応するため、公共施設の共同設置や行政サービスの共同実施など、周辺自治体と連携して取り組むことが効果的な方策等について調査・検討を行う。</p>						
効果（目的）		周辺自治体と連携して、まちづくりの課題に取り組むことで、質の高い行政サービスを効率的に提供できる市政運営が可能となる。						
年次計画		令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）				
		検討		検討		検討		
		<p>【市内での検討】 広域的に取り組む連携方策等について、市内関係課と調査検討</p> <p>【周辺自治体との検討】 市内における検討結果を踏まえ具体的な連携方策等について周辺自治体と調査検討</p>	<p>【市内での検討】 広域的に取り組む連携方策等について、市内関係課と調査検討</p> <p>【周辺自治体との検討】 市内における検討結果を踏まえ具体的な連携方策等について周辺自治体と調査検討</p>	<p>【市内での検討】 広域的に取り組む連携方策等について、市内関係課と調査検討</p> <p>【周辺自治体との検討】 市内における検討結果を踏まえ具体的な連携方策等について周辺自治体と調査検討</p>				
管理目標	進捗状況	年次計画に基づき実施する	年次計画に基づき実施する	年次計画に基づき実施する				
当該年度の活動実績		昨年度、知多市と合意書を締結した西知多医療構成組合が建設する健康増進施設について、運営後の資金の流れについて知多市と確認を行った。また、看護専門学校の実況について2市での情報共有を行った。						
管理目標実績		年次計画通り			評価	数値目標	進捗状況	総合評価
					価	—	○	A
分析及び課題		<p>知多市と構成する西知多医療厚生組合が運営する公立西知多看護専門学校は、多くの卒業生が公立西知多総合病院へ就職するが近年離職者が多くなっていることや、東海市内には日本福祉大学東海キャンパスに看護学部があるものの、卒業生が西知多総合病院へ就職する人数が少ないなど、病院の職場環境改善や西知多看護専門学校の今後のあり方について知多市と組合と協議を進める必要がある。このほか、両市の旧ごみ処理施設の解体等についても協議する必要がある。</p>						

3 行政資源の最適化の推進

(1) 人材育成の推進

No.		10	担当本部員:推進担当課	企画部長:職員課			
推進項目名		職員力・組織力の高い職場を構築するための各種研修の充実		推進期間	(継続) 2014～ 2023		
総合計画の 関連施策等		キーワード	施策・単位施策				
		快 適	38 効率的で健全な行財政運営を進める 38-1 効率的な市政運営を行う				
概要		多様化・高度化する市民ニーズへの対応や働き方改革を推進するため、女性の活躍推進をはじめとするワーク・ライフ・バランス等の職員の意識や業務効率及びコミュニケーション能力の向上を図ることができる各種研修を実施し、職員が個性と能力を最大限に発揮できる、職員力・組織力の高い職場づくりの推進を目指す。					
効果(目的)		職員力・組織力が向上することで、質の高い市民サービスの提供が可能となる。					
年次計画		令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)			
		検討・実施		検討・実施		検討・実施	
		各種研修の実施 (階層別研修、職場環境改善研修等) 【重点的に実施する研修】 働き方改革を推進するため業務効率化研修、女性職員バックアップ研修等を、組織力の向上のため部下とのコミュニケーション研修、職場環境改善研修等を実施		各種研修の実施 (階層別研修、職場環境改善研修等) 【重点的に実施する研修】 働き方改革及びコミュニケーション能力、資質を含めた職員の意識を向上させる研修を実施		各種研修の実施 (階層別研修、職場環境改善研修等) 【重点的に実施する研修】 働き方改革及びコミュニケーション能力、資質を含めた職員の意識を向上させる研修を実施	
		10月 次年度研修体系の検討		10月 次年度研修体系の検討		10月 次年度研修体系の検討	
管理目標	女性の管理職登用率 (R2実績: 26.1%)	26.9%	27.7%	28.5%			
	研修受講者満足度 (R2実績: 88.2%)	90.0%	91.0%	92.0%			
当該年度の活動実績		女性の活躍を推進していく取り組みの一環として「女性活躍推進研修」を、ハラスメント防止のため、主幹級以上の職員に集合研修を実施した。また、働き方改革の一環として、主任保育士に「部下とのコミュニケーション研修」、主幹職以上の消防職に「管理職管理能力育成研修」を実施し、コミュニケーション能力や部下管理能力の向上に努めた。					
管理目標実績		・市の管理職に占める女性職員の割合 令和3年度(2021年度)25.7% ・研修受講者満足度 令和3年度(2021年度)90.4%	評価	数値目標	進捗状況	総合評価	
				△	○	B	
分析及び課題		女性活躍推進研修及びハラスメント研修は、社会情勢に合わせ、柔軟に内容を変更して継続実施していく必要がある。また、様々な年代の市民に対応していく中で行政に対する要求が多様化しているとともに、職員間においても職務に対する世代間ギャップ等があることから、円滑に業務が進むようコミュニケーション研修を実施するなど、職員力・組織力向上のために、今後も職層及び職種のニーズに合わせた研修を実施していく。					

3 行政資源の最適化の推進

(2) 健全な財政運営の推進

No.		11	担当本部長：推進担当課		企画部長：企画政策課 (関係課：財政課、建築住宅課)		
推進項目名		公共施設等 ^{※5} の今後の方向性の検討			推進期間	(継続) 2016～ 2021	
総合計画の 関連施策等		キーワード	施策・単位施策				
		快 適	38 効率的で健全な行財政運営を進める 38-1 効率的な市政運営を行う 38-2 健全な財政運営を行う				
概要		<p>全国的な少子高齢化の進行による扶助費の増加や生産年齢人口の減少に伴い、限られた財源の重点的・効率的な活用が求められるなか、本市においては、建設から40年経過した公共建築物やインフラ施設が数多くあり、計画的な修繕や更新により、老朽化対策を図っていく必要がある。</p> <p>こうしたなか、特に公共建築物においては、市民ニーズの変化を踏まえ、施設の設置目的を検証するとともに、財政負担の軽減や平準化を推進するため、「東海市公共施設等総合管理計画」に基づき、長期的な視点による、長寿命化・複合化・広域化等を踏まえた施設のあり方の検討を全庁的な体制の下で行う。</p>					
効果(目的)		施設の統廃合等による財政負担の軽減や平準化を図るとともに、時代のニーズに応える行政サービスを提供することができる。					
年次計画		令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)			
		検討	<ul style="list-style-type: none"> 再編計画の「重点検討施設のロードマップ」の推進 総合管理計画の改定 				
管理目標	進捗状況	年次計画に基づき実施する					
当該年度の活動実績		<p>再編計画に位置付けた「重点検討施設のロードマップ」に基づき、地域密着型施設、本庁舎等のあり方検討を進め、児童館及び敬老の家・健康交流の家について方針を定めた。</p> <p>また、インフラ施設の長寿命化計画(個別施設計画)の見直しを行い、個別施設計画を踏まえた総合管理計画の改訂を実施した。</p>					
管理目標実績		年次計画通り	評価	数値目標	進捗状況	総合評価	
				—	○	A	
分析及び課題		再編計画に位置付けた「重点検討施設のロードマップ」に基づき、引き続き、本庁舎等のあり方の検討が進むよう関係課と調整を行う。					
効果額(千円)		—					

3 行政資源の最適化の推進

(3) 組織・機構の適正化

No.	12	担当本部員：推進担当課	企画部長：企画政策課		
推進項目名	組織の適正化		推進期間	(継続) 2014～ 2023	
総合計画の 関連施策等	キーワード	施策・単位施策			
	快適	38 効率的で健全な行財政運営を進める 38-1 効果的な市政運営を行う			
概要	社会経済環境、市民ニーズの変化に対応し、効率的な市政運営を行うため、部課等の統廃合・新設などを検討・実施する。				
効果(目的)	機動的かつ市民にわかりやすい組織になる。				
年次計画	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)		
	検討・実施	検討・実施	検討・実施		
	4月 組織改正の実施 次年度の組織体制の 検討	4月 組織改正の実施 次年度の組織体制の 検討	4月 組織改正の実施 次年度の組織体制の 検討		
	12月 次年度の組織体制の 決定	12月 次年度の組織体制の 決定	12月 次年度の組織体制の 決定		
管理目標	組織間の連携が図られていると思う職員の割合 (R2実績: 66.6%)	64%	66%	68%	
当該年度の活動実績	令和3年(2021年)6月に新型コロナウイルスのワクチン接種体制を強化・推進するために、健康推進課内に「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を設置(令和3年度末廃止)し、令和4年度(2022年度)の組織改正に向けた検討を行い、脱炭素社会の実現に向けた施策や関係者との連携を推進するため、生活環境課内にゼロカーボン戦略室を設置するなどの組織改正を行った。 8部48課3室97グループ⇒8部48課5室100グループ				
管理目標実績	63.5%	評価	数値目標	進捗状況	総合評価
			×	○	C
分析及び課題	「組織間の連携が図られていると思う職員」の割合は、昨年度に比べ約3ポイント低下し、管理目標を達成することはできなかった。 ゼロカーボンシティ宣言を踏まえるなど、社会全般における行政の役割や将来を見据えたまちづくりを着実に進めていくための組織体制の検討を行う。				

3 行政資源の最適化の推進

(3) 組織・機構の適正化

No.	13	担当本部長：推進担当課	企画部長：デジタル推進課 (関係課：企画政策課、職員課)		
推進項目名	デジタル技術を活用した行政サービスの向上	推進期間	(継続) 2019～ 2023		
総合計画の 関連施策等	キーワード	施策・単位施策			
	快適	38 効率的で健全な行財政運営がされている 38-1 効率的な市政運営を行う			
概要	デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、行政サービスの更なる向上を図る。				
効果(目的)	行政サービスにおいて、住民の利便性を向上させるとともに、効率的に業務を遂行できる。				
年次計画	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)		
	検討・実施	検討・実施	検討・実施		
	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化推進の方向性の検討 情報システムの標準化・共通化の検討 行政手続きのオンライン化の推進 AI・RPA^{*6}等を活用した業務改善の実施 専門性のある人材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの標準化・共通化の検討 行政手続きのオンライン化の推進 AI・RPA等を活用した業務改善の実施 専門性のある人材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの標準化・共通化の検討 行政手続きのオンライン化の推進 AI・RPA等を活用した業務改善の実施 専門性のある人材の活用 		
管理目標	進捗状況	年次計画に基づき実施する	年次計画に基づき実施する	年次計画に基づき実施する	
当該年度の活動実績	<p>DXを進めていくための重点取組事項等を示す東海市DX推進基本方針を令和4年(2022年)3月に策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度(2022年度)に実施する行政手続きのオンライン化の導入に必要な環境整備に向けて、関係課と連携を図りながら、仕様作成等の準備を進めた。 情報システムの標準化・共通化の導入に向けて、関係課と勉強会を開催し、国が示す標準仕様書とのFit & Gap分析^{*7}の実施につなげた。 専門性のある職員による国の給付金の管理システムの構築のほか、デジタル推進課や業務担当課によるRPAの導入、庁内会議資料のペーパーレス化の導入など、各方面でのデジタル化による業務改善を推進するとともに、デジタルデバイド(情報格差の解消)対策・市民サービスの向上策として、マイナポイントの取得支援窓口を実施した。 				
管理目標実績	年次計画通り	評価	数値目標	進捗状況	総合評価
			—	○	A
分析及び課題	<p>情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化の導入に向けて、関係課と連携を図りながら適切に対応していく。</p> <p>また、令和4年度(2022年度)は、オンライン申込等の充実や会議録の文字起こしの自動化などの実証実験を予定しており、「市民サービスの向上」「業務の効率化」「脱炭素化(ペーパーレス化)」といったデジタル化による効果検証を行いながら、全庁的な業務改善につなげていく。</p> <p>令和6年(2025年)2月には、情報端末・ネットワークの一斉更新を予定しており、一層の業務の効率化、ペーパーレス化の推進に必要な機能や環境整備の調整・準備を進めていく。</p>				

行政改革推進項目総括表

推進項目		推進担当課	総合評価	効果額 (千円)
1	市内の公共交通等の移動手段の充実	交通防犯課	C	
2	健康増進のための施設リニューアル（しあわせ村）	健康推進課	C	—
3	ごみ減量・資源化の推進	清掃センター	A	
4	屋外スポーツ施設の整備推進	スポーツ課	B	—
5	農業センターリニューアル	農務課	A	
6	公金におけるキャッシュレス決済の導入	企画政策課	A	
7	ごみ処理施設の広域化	清掃センター	A	
8	下水汚泥の共同処理	下水道課	A	197,649
9	周辺自治体との連携方策等の検討	企画政策課	A	
10	職員力・組織力の高い職場を構築するための各種研修の充実	職員課	B	
11	公共施設等の今後の方向性の検討	企画政策課	A	—
12	組織の適正化	企画政策課	C	
13	デジタル技術を活用した行政サービスの向上	デジタル推進課	A	

総合 推進状況	A	B	C	D	全推進項目中 A及びBの割合
	8	2	3	0	76.9%

効果額計 (千円)	197,649
--------------	---------

用語解説

番号	項目	用語	解説
※1	1	G T F S データ	General Transit Feed Specification の略。 公共交通機関の時刻表とその地理的情報に使用される共通のオープンフォーマットのこと (Google マップ等)。
※2	2 7 9	西知多医療厚生組合	東海市と知多市で構成される一部事務組合。 一部事務組合とは、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織である。令和3年度(2021年度)の時点で、病院施設の維持管理、看護専門学校の設置及び管理、し尿処理施設の維持管理並びにごみ処理施設及び健康増進施設の建設等を共同処理する事務としている。
※3	7	環境影響評価	事業を行うことによって環境にどのような影響を及ぼすかについて、調査、予測及び評価を行い、その結果を公表して住民、知事、市町村長等から意見を聴き、それらの意見を踏まえて環境の保全の見地からより望ましい事業計画にしていく制度。
※4	8	衣浦西部浄化センター	衣浦西部流域下水道 (半田市、知多市、阿久比町、武豊町、東浦町) の終末処理場。平成3年度 (1991年度) から供用開始されている。
※5	11	公共施設等	公共施設、公用施設その他の当該地方公共団体が所有する建築物その他の工作物をいう。具体的には、いわゆるハコモノの他、道路・橋りょう等の土木建築物、公営企業の施設 (上水道、下水道等)、プラント系施設 (廃棄物処理場、斎場、浄水場、汚水処理場等) 等も含む包括的な概念である。
※6	13	A I ・ R P A	Artificial Intelligence の略。人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術又は人間の知的営みを行うことができるコンピュータプログラムのこと。一般的に「人工知能」と訳される。 Robotic Process Automation の略で、これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作を、ソフトウェアのロボットで自動化する技術のこと。
※7	13	F i t & G a p 分析	事業者の提供するパッケージソフトの機能が、利用者として求める要件に適合 (fit) している点と乖離 (gap) している点を明らかにし、事業者の提供するパッケージソフトと利用者として求める要件との適合性を判断する分析手法のこと。

東海市企画部企画政策課

〒476-8601 東海市中央町一丁目1番地

TEL:052-603-2211 FAX:052-603-8803

E-mail:kikaku@city.tokai.lg.jp